

# 平成26年度 ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時:平成27年2月19日(木)  
午後1時30分から午後3時まで  
場所:徳島グランヴィリオホテル 2階「福寿」

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議事内容

- 1)ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2)平成26年度の事業経過について
- 3)平成27年度の事業計画について
- 4)意見交換
- 5)その他

## 4 閉 会

# 平成26年度事業経過

## 1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
			(円)
			1,700,000
(1)調査研究事業	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	1,700,000
			850,000
(2)研修事業	ア ふるさと水と土指導員全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成。	335,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成。	515,000
			10,881,000
(3)推進事業	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	110,000
	イ ふるさと水と土指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が中山間地域において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を支援し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	500,000
	ウ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	エ 獣害に立ち向かう農山村づくりモデル推進事業	鳥獣被害実態調査等にもとづく被害対策指導のほか、現場での技術指導を担う鳥獣被害対策指導員の養成研修を行う。また、鳥獣被害対策の総合的技術対策に取り組むモデル集落を育成する。	9,000,000
	オ 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	498,000
	合 計		13,431,000

## 2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
			(円)
			4,222,000
(1)保全ネットワーク推進事業	ア 「とくしまの棚田」情報発信事業	「とくしまの棚田ホームページ」や様々な機会を活用して、県内外の棚田地域をはじめとする中山間地域の情報を収集・発信し、県民の関心を高める。 棚田をはじめとする中山間地地域を題材としたフォトコンテストを開催し、県民の棚田地域等への関心を高めるとともに、次代に伝えるべき中山間地域の景観をデータで収集する。	875,000
	イ とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	3,347,000
			1,200,000
(2)保全活動推進事業	ア ふるさと水と土指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田等地域において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	500,000
	イ 棚田の保全に関する調査研究	県内に存在する棚田の現況を調査し、のり面や石積みの崩壊等整備が必要な棚田のとりまとめを行う。	700,000
	合 計		5,422,000

# 1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

## (1)調査研究事業

### ア 中山間むらづくり調査事業

本県の主要河川である吉野川、那賀川は農業水源として主要な役割を果たしているが、水量、水位が安定せず農業用水の取水に不安が生じている。

そこで、かんがい期における農業用水の取水位を把握し、渇水時の対策の資料とするため河床変動(水位観測)調査や環境調査(生き物調査)を実施した。



用水施設の現地調査



環境調査(生き物調査)

## (2)研修事業

### ア ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

第21回ふるさと水と土基金全国研修に1名を派遣した。

日時:平成27年1月29日(木)~30日(金)

場所:東京都千代田区  
「全国都市会館」



指導員全国研修への参加

### イ ふるさと水と土指導員任命式および研修会(予定)

日時:平成27年3月下旬(予定)

場所:徳島市内

内容

- (1) 新規指導員任命
- (2) 指導員活動事例発表
- (3) 意見交換 など



ふるさと水と土指導員任命式および研修会(H25)

## (3)推進事業

### ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時:平成27年2月19日(木)

場所:徳島市内



ふるさと水と土保全懇話会(H25)

## イ ふるさと水と土指導員活動支援事業

ふるさと水と土指導員が土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化推進のための交流行事等を実施した場合、その要した経費について上限10万円を補助金として交付。

事業実施期間 平成26年5月8日から平成27年3月20日

市町村名	事業内容
吉野川市	梅の収穫体験や環境保全交流イベントの開催による地域活性化
	高開石積み保護活動や、そばづくり体験の開催による地域活性化
	農業体験や環境保全活動を通じた地域活性化
勝浦町	豊かな自然を活かした体験学習、都市住民との交流による地域活性化
東みよし町	集落道の環境保全や農村舞台の開催による地域活性化
つるぎ町	耕作放棄地にキクイモの栽培、加工品づくりを利用した地域活性化
佐那河内村	自然体験学習に関する研修を通じた農山村の魅力発信
神山町	田舎遊び体験教室や環境保全活動を通じた地域活性化
那賀町	都市住民との協働による「拝宮和紙原料づくり」を通じての地域活性化
牟岐町	景観保全に向けたコスモス植栽や、自然体験を通じた地域活性化
美波町	都市との農業体験交流に向けた休耕地の野菜づくりによる地域活性化



拝宮和紙の原料づくり(那賀町)



コスモスロードづくり(牟岐町)



農業体験(勝浦町)

## ウ 農林漁業体験推進事業

四国グリーンツーリズム推進協議会において、キャンペーンによる農林漁業体験施設等のPRや大阪のイベント(森林の市)へ出展し、グリーンツーリズム体験コーナーの設置やPRパネル展示をするなど、グリーンツーリズムを推進した。

日時:平成26年10月5日(日)  
場所:大阪市「桜之宮公園」



「森林の市」でのグリーンツーリズム体験コーナー(大阪市)

## エ 獣害に立ち向かう農山村づくりモデル推進事業

集落ぐるみで総合的な鳥獣対策を行うモデル集落を育成するとともに、サルの効果的な捕獲実証実験やモンキードッグの育成支援を行った。

モデル集落の育成 7市町 9地区  
モンキードッグの育成支援 3市町 5頭導入



集落環境点検  
(モデル集落の取組)



モンキードッグの育成

## 2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

### (1) 保全ネットワーク推進事業

#### ア 「とくしまの棚田」情報発信事業

中山間地域の魅力ある写真を通じてふるさと徳島を広くPRすることを目的としてフォトコンテストを開催し、68点の応募があった。県庁県民ホールや阿波おどり空港などで写真展を開催した。



フォトコンテスト写真展(阿波おどり空港)

#### イ とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業

社会貢献に関心の高い団体(大学・企業・NPO法人)の参画を得て、多様な県民と共に農山漁村の保全活性化を進めていくことを目指し、現在、46団体(累計)と「農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定」を締結。農作業や保全作業の支援が行われたのをはじめてとして、農山漁村地域に対して様々な応援活動を展開中。

##### 【協働パートナー団体】

- (平成22年度) 8団体
- (平成23年度) 10団体
- (平成24年度) 11団体
- (平成25年度) 10団体
- (平成26年度) 7団体

- ① 貞光食糧工業(有)
- ② ナカガワ・アド(株)
- ③ (株)中村両栄舎
- ④ 西精工(株)
- ⑤ BX朝日建材(株)
- ⑥ NPO法人マチトソラ
- ⑦ (有)三木産業

※合計46団体のうち、3団体が辞退

##### 【26年度活動実績】

- 活動日数 28日間(平成27年2月末時点)
- 活動した農山漁村地域 17地域(平成27年2月末時点)  
(三好市東祖谷、美馬市美馬町、那賀町拝宮、美波町木岐上勝町椋原、東みよし町法市、海陽町久尾、勝浦町坂本など)
- 主な活動内容
  - ・梅干しづくり作業
  - ・ジャガイモの収穫
  - ・そば、寒茶の収穫
  - ・ユズ、ハッサクの収穫
  - ・祭りの応援(だんじりの曳き手)
  - ・和紙原料づくり(こうぞの刈り取り、白皮づくり)
  - ・集落道の整備
  - ・棚田の保全活動(棚田周辺の雑木除去等)
  - ・祭り会場の整備(おひな様の奥座敷、広棚の芝桜祭り)



協働パートナー協定締結式及び感謝状贈呈式(県庁)



そばの収穫  
(三好市)



地域イベント応援  
(海陽町:だんじり、美波町:かかしコンテスト)



棚田の整備(上勝町)

### (2) 保全活動推進事業

#### ア 棚田の保全に関する整備手法の調査研究

棚田の保全活動を図ることを目的に、現存する主要な棚田の状況を把握するとともに、棚田の生産環境概要等に関する棚田台帳を作成する。

項目	内容
調査対象	徳島県内主要な棚田
調査期間	平成27年度～平成28年度
調査方法	現地調査、関係機関との連携調査
調査結果	棚田の現状把握、生産環境の調査
今後の取組	調査結果の活用、保全活動の推進

棚田台帳の作成(徳島県土地改良事業団体連合会)

## 平成27年度計画(案)

### 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
		(円)
調査研究 事業費		3,108,000
	中山間むらづくり調査事業	3,108,000
研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
推進事業		10,950,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	107,000
	ふるさと水と土指導員活動支援事業	800,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防対策等推進事業	9,000,000
	啓発推進事業	270,000
合計		14,828,000

### 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
		(円)
保全ネットワー ク推進事業		3,224,000
	「とくしまの棚田」情報発信事業	677,000
	とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	2,547,000
保全活動推進 事業		2,200,000
	ふるさと水と土指導員活動支援事業	700,000
	棚田の保全に関する整備手法等の調査研究	1,500,000
合計		5,424,000